

大規模災害の備え、防犯対策に!

災害からあなたと家族を守る

命のパスポート

シリーズ154

自治会に加入 してください!

地震などの災害が発生したとき、公的な機関だけで全ての命を救うことはできません。

阪神・淡路大震災では、消防や警察などに救助されたかたは2割程度しかおらず、約8割のかたは、自治会など地域のかたに救助されました。隣近所の素早い安否確認が多くの命を救うこととなります。

また、災害時だけでなく、普段から、みなさんで協力して地域の安全を守り合うしくみとして、自治会による防犯カメラの設置があります。市では、防犯カメラ設置費用を補助しており、自治会で話し合って設置していただくと、空き巣や自転車・オートバイ盗などの犯罪を未然に防ぐ効果が期待できます。

※自治会には、マンション管理組合を含みます。

災害に備えて

箕面市では 大規模災害時の安否確認を自治会単位で行います

素早い安否確認のための

安否確認 分担表

「安否確認分担表」は、自治会であらかじめ安否確認をするグループや報告に行く人、報告を受ける人、集合場所などを決めておくものです。日頃から自分がどの班にいるか、どんな役割があるかを確認しておきましょう。

班	班長	班員	人数
1班	山田 太郎	山田 次郎、山田 三郎	3人
2班	山田 四郎	山田 五郎、山田 六郎	3人
3班	山田 七郎	山田 八郎、山田 九郎	3人
4班	山田 十郎	山田 十一郎、山田 十二郎	3人
5班	山田 十三郎	山田 十四郎、山田 十五郎	3人

今が「安否確認分担表」の更新の時期です!

総会などが行われている今が、「安否確認分担表」の更新の時期です。この機会に必ず更新を行い、役割を確認しておいてください。

安否確認分担表の用紙は、市役所市民安全政策室で用意しています。市ホームページにも掲載しています。

箕面市では ライフライン・物流復帰までの物資配布など優先的に自治会を通じて行います

水や食糧など災害時に必要な救援物資は、小学校区ごとに設けられた地区防災委員会から、自治会を通じて配布します。

犯罪の防止に

箕面市では 900台近くの防犯カメラを自治会が設置しています

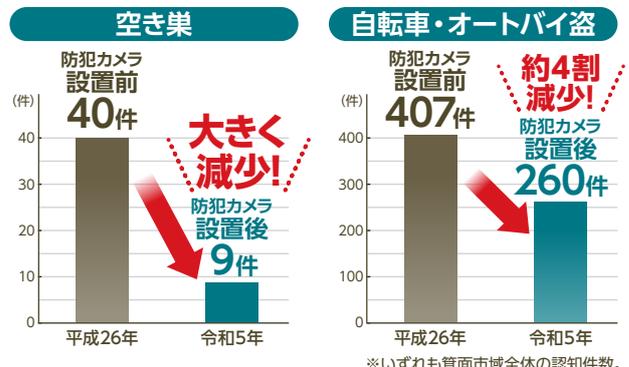
市では、防犯カメラ設置費用の補助を行っています。

- カメラの設置密度が低いエリア*への設置…8割補助
- カメラがあるエリアへの設置…4割補助

★設置密度が低いエリアとは、近くに防犯カメラが無いエリアのことで、具体的には、既設の防犯カメラを中心に直径150mの範囲外のことです。

重要 防犯カメラは、犯罪の抑止につながる大変効果的なものです。設置については、市民安全政策室(☎724・6750)へご相談ください。なお、本市の防犯カメラには、カメラのプライバシーマスク機能があり、個人宅の門扉・玄関・窓などを黒く塗りつぶして映らないようにするなど、プライバシー保護に配慮しています。

防犯カメラを設置することで 街頭犯罪が減少!



自治会に入ることは、大切な家族や自分を災害や犯罪から守る第一歩です!

今すぐ/お電話ください! 箕面市役所自治会係 専用ダイヤル ☎724・6179

地区防災委員会の活動に参加したい自治会(マンション管理組合を含む)もお電話ください。

自治会に関する情報は、市ホームページ「自治会よろず情報」(QRコード)をご覧ください。



※防犯カメラなどの補助金は、市議会の議決が前提となります。